

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 中学生の漢字使用の習熟度に関する調査

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 根本, 今朝男, NEMOTO, Kesao メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00001785">https://doi.org/10.15084/00001785</a>

# 中学生の漢字使用の習熟度に関する調査

根本今朝男

## I. 調査のあらまし

### 1. 調査の目的・意義

中学生の漢字書字力に関する調査研究としては、すでに、当研究所国語教育研究室が「中学生の漢字習得に関する研究」のなかで行なった、当用漢字全数についての、中学校入学時から終了時までの3年間にわたる追跡調査（同研究所報告36『中学生の漢字習得に関する研究』B5 895ページ 昭和46年3月 秀英出版刊）がある。また、「小・中学生に対する教育漢字881字の書きの調査」（文部省初等教育課 昭和25年実施）、「中等学校における漢字書写能力調査」（日本私学教育研究所 昭和40年実施）、その他などがある。

しかし、これらの諸調査では、それぞれの漢字の音・訓をつくしての書字力、いわば、漢字使用の習熟度的観点からの調査は行なわれていない。だが、このことが明らかにされていること、ことに提出語との関連においておさえられていることは、漢字指導および語彙指導にとって重要である。そこで、各字について、音訓表に示された音・訓のすべてにわたって、1字につき数語ないし10数語からなる問題を作成し、各字の書字力の実態を明らかにすることを試みた。これをとおして、漢字指導ならびに語彙指導に関する基礎的資料の一つを提供したい。これが、この調査研究の主たる目的・意義である。なお、この調査は研究室の仕事として行なったものである。

### 2. 調査の内容・方法

前述のような目的からすれば、少なくとも、漢字の字種として当用漢字の全部、被調査者として小・中・高の各最終学年程度はほしい。しかし、今回はそこまで及ばなかった。調査の第1歩的段階で、調査漢字を現行学習指導要領（小学校 昭和43年度改訂、中学校 昭和44年度改訂）において小学校におろされ

ることとなった当用漢字 115 字（いわゆる「備考」漢字）のみとした。具体的にはつぎの諸字である。

域字羽映沿灰街閣割干卷看簡丸危机揮弓吸泣胸郷筋徑譬劇穴源呼好紅降鋼  
刻骨困砂座裁冊姿誌磁射捨尺若樹縦縮熟署将笑傷障城蒸針垂寸染泉洗奏窓  
層操臟宅担探段暖值仲宙庁兆頂潮痛糖乳腦肺背俳班晩批秘腹閉片宝訪亡忘  
捧枚幕密模矢郵優幼羊翌乱卵覧裏朗

この 115 字について、当用漢字音訓表に示された音・訓（調査時点で、音訓表の改定で付加される可能性が強いと思われた音・訓を含む）のすべてにわたるように、それぞれ、その漢字を含む語句を選び、文脈・語脈を与えて提出した。提出語句は、現代語として生きて使われており、かつ、使用頻度が高いと見られるものに限定するようにした。また、被調査者を中学 3 年生のみとしたので、彼らの理解範囲に含まれる語であるという点などもなるべく考慮するようにした。提出語句の選定は調査者（根本）の主観によった。

調査はペーパーテストによるワークリミット方式をとり、数回に分けて行なった。問題用紙（計 15 枚）のそれぞれは、平均して約 50 語ほどが問題として提出されているが、同一用紙に同一字を含む問題がのることができるだけ少なくなるように分散して配列した。なお、15 枚のうち最後の 1 枚は、やや抵抗が高いと思われる語句についての漢字の読みの問題とし、書字力との対応関係が見られるようにした。問題の形式・内容のだいたいがわかるように、例として、問題用紙の 1 枚めをつぎに示してみる（原文は縦書き）。

(1)

年	男 女	氏 名	( ) 番
---	--------	--------	-------

1. つばめの<sup>うづがえり</sup>□返り。
2. 一<sup>きつ</sup>□の本。
3. 直<sup>ちうけい</sup>□十センチの円。
4. <sup>くわ</sup>□居生活をした古代人。
5. 家<sup>たくさうさく</sup>□搜索。
6. 馬術と<sup>うまじゆつ</sup>□術。
7. このドアは自動的に開<sup>かい</sup>□する。
8. 書<sup>かい</sup>□文。
9. □機一髪。
10. 電車の□車場。
11. 人口□度。
12. □<sup>ようちえん</sup>稚園。
13. □<sup>き</sup>席にすわる。
14. 実力が伯<sup>はく</sup>□<sup>はう</sup>している。
15. オーストラリアから□<sup>うしう</sup>毛を輸入する。
16. □<sup>じようばつ</sup>発皿
17. 一列□<sup>いけい</sup>隊
18. 数<sup>すうち</sup>□計算
19. 船<sup>せんせう</sup>□から海の景色をみる。
20. 富士山の□<sup>ふじしや</sup>上。
21. 塩

- 分と□分。 22. □練された着こなし。 23. 身長・体重・□囲。 24. □岸  
 漁業。 25. 表面と□面 26. △△製鉄○製□所。 27. □句を作る。  
 28. ご愁□さま。 29. 卒先□範。 30. 友人の家を□問する。 31. □難に  
 打ちかつ。 32. 太平洋の□流を調べる。 33. 気□壮大。 34. 徳川三代□  
 軍。 35. 本屋の□板。 36. □湿性の高い□い取り紙。 37. □みつにして  
 おく。 38. ハイキングには絶□の日よりです。 39. 十五歳の□年者。  
 40. 日本には温□が多い。 41. 人員点□。 42. 土地を□保に金を借りる。  
 43. 用紙の□数を数える。 44. □擬テスト。 45. 牛□を飲む。 46. 契約  
 書に□名する。 47. 老女はあたりもはばかりす号□した。 48. □と四角。  
 49. 国の興□。 50. 五月の空に□車がまわる。

以上に示したような形で、総数 708 語を提出した。したがって、1 字につき  
 平均 6.1 語を提出したことになる。なお、15枚めの読みの問題としては、この  
 708 語の中から52語を選んで提出した。提出の形式は、書字の際の問題と同一  
 の文脈・語脈により、目当ての語にルビをつけさせるようにした。

実施にあたっては、全体をとおして当方がテスターとなることを原則とした  
 が、都合により、一部分、学校側で実施願った。

### 3. 被調査者

東京都北区立 I 中学校、同じく北区立 W 中学校の 3 年生各 2 クラスずつ（男  
 子 71 名、女子 80 名、計 151 名）を対象として実施した。両校とも、漢字につい  
 て特別な指導は行なっておらず、また、地域環境的には、都心部からやや離れた  
 ところで、商店街・住宅街などがほどほどに混在した地域である。したがっ  
 て、だいたいにおいて、都内の標準的な中学校における調査であるとみなすこ  
 とができる。

### 4. 調査時期

昭和46年10月。義務教育終了段階での実態をおさえるという観点からは、第  
 3 期学末に実施が望ましいが、諸般の事情から10月に実施した。

## II. 結果の概要

### 1. 正答率について

この調査の結果の考察としては、正答・誤答に関する数的な側面だけでなく、どの漢字がどのような語において書けるか、どのような語においてどのような誤りの傾向がみとめられるかなど、語との関連における漢字使用の質的な側面を明らかにすることが必要である。こうしたことから、それに見合った整理も進めてきている。しかし、ここでは、この面にはふれず、提出語句別の正答率を一覧表として提出した。一覧表はつぎのように構成されている。

- ① 115 字の配列の順序は、その字の音の五十音順とする。
- ② 「提出語形」欄での語の示しかたは、もとの文脈の前後を切り捨て、この表としての必要最小限の形（なかには、問題文と同一のものもある）とする。
- ③ 「提出語形」欄の目当てのよみは、提出字・提出語が明瞭に判別できるように、音・訓にかかわらずカタカナ表記にする。
- ④ 「当用漢字改定音訓表」で付加された音・訓は「字」欄の（ ）内に示す。
- ⑤ 改定音訓表で付加されたよみで調査語になかったもの「危(あぶない)」, 反対に、付加されなかったよみで調査語に入れたもの「射(さす)」が、結果的に出てしまったが、これについてはそのまま示す。

なお、この整理においては、同じ語の漢字表記として二通り（あるいはそれ以上）が社会的に通用している（たとえば、「暖かい、温かい」）ような場合、「暖」のところで出したなら「暖かい」のみを正答とし、「温かい」は誤答として処理するというようにした。これは、一応の処理としてそうしたのであって、こうした現象については、あらためて、反応の分析として扱う予定である。

以上のような整理の結果を見ると、115 字の提出延べ字数（708 語、708 字）についての、被調査者全体としての平均正答率は、男子46.2%、女子51.6%、男女計49.3%であった。この数字からもわかるように、多くの語において男子よりも女子のほうが数%高いという傾向がみとめられた。

## 2. 男子的傾向、女子的傾向

漢字使用の習熟という観点からの男子的傾向、女子的傾向の一つについてのべる。

さきほど、多くの語において女子のほうが男子よりも正答率が数%高いということをのべた。しかし、個々の字、個々の語としてみていくと、男子のほうが、あるいは女子のほうがはるかに高いというように、その差の目立つものがある。たとえば、「羽」についてみると、

	男	女	計
鳥のウ毛	65.3%	71.3%	68.4%
奥ウ地方	88.8	85.0	83.3
ハ衣	26.8	51.3	39.7
ハ二重	34.2	66.3	51.0
からすが三バ	79.2	86.3	82.9
くじゃくのハネ	90.0	92.5	91.3

となっていて、「奥ウ地方・くじゃくのハネ」などでは差というほどの差は認められないのに、女子のほうが興味・関心の度が高いと思われる「羽二重・羽衣」などでは、男子よりもはるかに高い正答率を示している。同様の傾向は「裁」の場合にもあらわれている。

	男	女	計
紙をサイ断する	12.5%	45.0%	29.6%
サイ縫	21.1	50.0	36.4
決サイをうける	12.7	12.5	12.6
制サイを加える	33.3	30.0	31.6
布地をタツ	2.8	33.3	19.0

これと反対に、「磁」のように、語によっては男子がはるかによく書けるものもある。

	男	女	計
陶器とジ器	9.9%	11.3%	10.6%
ジ気嵐	41.1	10.0	25.0
ジ極	50.7	12.5	30.7
ジ鉄鉾	41.4	10.0	24.7
ジ石	45.8	9.9	26.8

シ力線	44.3	8.8	25.3
電ジ説	45.8	13.9	29.1
陶ジ器	36.1	12.5	23.7

これらの現象についてくわしく解釈するには、さらに豊かな資料による分析が必要であろう。しかし、これだけでも、中学3年生段階における漢字使用の習熟の面に関する性差の一面は指摘されるであろう。

### 3. むすび

この調査の被調査者は昭和43年4月に小学校6年生となった生徒たちである。小学校の改訂指導要領が出されたのが昭和43年7月であり、昭和46年4月からの完全実施に至るまでの移行措置がとられたのは昭和44年4月からである。したがって、この生徒たちは小学校段階でこの115字について組織的に指導されてはいないはずである。このような観点からすれば、この調査は移行措置期間における調査といえることができよう。また、「改定音訓表」の答申はまだなされていなかった。この点では、付加された音・訓についての反応は、一般社会での使用の慣習からの自然的習得の反映であるといえることができよう。

以上のような性格の調査であるが、その結果を正答率一覧表としてつぎに掲げてみる。漢字指導・語彙指導上の一資料として活用いただければさいわいである。

提出語形別正答率一覧表

字	提出語形	平均正答率(%)			字	提出語形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
1 域 イ キ	地イキ社会	57.7	73.8	66.2	3 羽 ウ ・ は は ね	奥ウ地方	80.8	85.0	83.0
	流イキ	61.1	75.9	68.9		ハ衣	26.8	51.3	39.7
	領イキ	51.4	65.0	58.6		ハ二重	34.2	66.3	51.0
2 字 ウ	ウちゅう人	71.8	72.5	72.2		一ワのすずめ	62.9	67.5	65.3
	気ウ壮大	8.5	17.5	13.2		からすが三バ	79.2	86.3	82.9
	鳥のウ毛	65.3	71.3	68.4		くじゃくのハネ	90.0	92.5	91.3

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
4 映 エイ・うつる・(うつす・はえる)	エイ画会	73.2	87.5	80.8	カク	組カクを完了した	48.6	40.0	44.1
	エイ写機	63.4	81.8	72.8		内カク総理大臣	88.6	90.0	89.3
	エイ像文化	75.7	85.0	80.3		入カクする	63.9	46.8	55.0
	えいがを上エイする	79.2	81.3	80.3		楼カク	12.7	10.0	11.3
	政治に反エイさせる	56.2	70.0	63.4		天守カク	72.6	75.0	73.9
	鏡にウツった顔	9.7	6.2	7.8	9 割 カツ・わる・(わり・われる・さく)	カツ愛する	26.0	17.5	21.6
	スライドをウツす	23.3	17.5	20.3		群雄カツ拠	7.0	5.0	6.0
	夕日にハえる	18.1	23.8	21.1		切線とカツ線	27.8	12.5	19.7
						分カツする	36.6	36.3	36.4
5 治 エン・そう	エン岸漁業	36.6	40.0	38.4		竹をワる	61.6	65.0	63.4
	鉄道のエン線	35.6	41.3	38.6	10 干 カン・ほす・ひる	二ワリ引き	95.9	92.5	94.1
	エン道にならぶ	30.1	37.5	34.0		ガラスがワれた	44.4	46.3	45.4
	流れにソって歩く	21.1	17.5	19.2		時間をサく	4.2	0	2.0
6 灰 カイ・はい	石カイ岩	45.1	41.3	43.0	11 巻	二人のなかをサク	0	0	0
	燃えてハイになる	51.4	46.3	48.7		カン害を受けた	21.1	21.3	21.2
	ハイ色の人生	53.4	63.8	58.8	カン渉するな	湖をカン拓する	21.9	21.3	21.6
7 街 ガイ・(カイ・まち)	カイ道	45.7	58.8	52.7		カン天の慈雨	6.9	6.2	6.5
	ガイ頭演説	50.0	56.3	53.3		じゃっカンたりない	9.7	10.0	9.9
	ガイ路じゅ	47.2	51.3	49.3		せんたく物をホす	38.4	55.0	47.1
	商業市ガイ地	29.6	35.0	32.5		池がヒあがる	21.4	16.3	18.7
	繁華ガイ	53.4	63.8	58.8		「さば」のヒ物	42.5	47.5	45.1
	マチのうわさ	30.6	43.2	37.3	11 巻	カン頭論文	21.1	20.0	20.5
	マチ角	31.9	40.0	36.2		カン末	48.6	55.0	52.0
8 閣	総理大臣カッ下	40.3	37.5	38.8					
	カク僚	75.3	61.3	68.0					



字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
カン・まく・(まき)	漱石全集の第一カン	52.8	58.2	55.6	(あぶない)	アヤういところで	20.5	31.3	26.1
	いかりをマきあげる	68.6	76.3	72.7		～をアヤぶむ	12.9	13.8	13.3
	古文書のマキ物	65.3	76.5	71.2					
12 看カン     13 簡カン	カン護婦さん	12.3	21.3	17.0	16 机キ・つくえ	山田一郎先生キ下	0	0	0
	状況をカン破する	2.8	1.3	2.0		キ上の空論	7.0	3.8	5.3
	本屋のカン板	7.0	8.8	7.9		ツクエの上	80.6	90.0	85.5
	カン病する	8.3	22.5	15.8		ツクエをならべる	77.5	90.0	84.1
	カン易保険	46.6	47.5	47.1	17 揮キ	キ発油	4.1	12.5	8.5
	カン素な生活	33.3	41.3	37.5		指キをとる	43.1	58.8	51.3
	カン単な質問	61.6	68.8	65.4		実力を発キする	23.9	42.5	33.8
	カン便な方法	30.6	22.8	26.5	18 号キユウゆみ	馬術とキュウ術	49.3	40.0	44.4
	カン略化する	36.1	31.3	33.6		剣道, キユウ道	66.2	55.0	60.3
	書カン文	12.7	3.8	7.9		ユミ状に曲った	83.3	83.5	83.4
14 丸ガン・まるい・(まる・まるめる)	一ガンとなって～	37.0	28.8	32.7	19 吸キユウ・すう	キュウ引力	75.0	78.8	77.0
	弾ガン	59.7	51.3	55.3		キュウ血鬼	79.4	87.5	83.7
	砲ガン投げ	60.6	48.8	54.3		キュウ湿性	50.7	63.8	57.6
	地球はマルい	83.6	88.8	86.3		キュウ収する	68.1	86.1	77.5
	マルと四角	76.1	81.3	78.8		キュウ着	55.7	72.5	64.7
	マル太と角材	81.9	88.8	85.5		キュウ入する	59.7	74.1	67.3
	紙をマルめる	76.7	81.3	79.1		キュウ盤のある魚	67.1	56.3	61.3
						息をスう	60.6	73.8	67.5
15 危キ・あやうい・	キ害を加える	13.9	25.0	19.7	20 ウ・なく	スイ取り紙	46.5	58.8	53.0
	キ機一髪	28.2	46.3	37.7		老女は号キユウした	32.4	46.3	39.7
	キ険をおかす	33.3	46.3	40.3		男の子がけいている	70.4	88.8	80.1
	キ篤状態	22.5	35.0	29.1	21	体重・キョウ囲	45.1	71.3	58.9

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
胸むきね(むな)	いい度キョウだ	59.2	72.5	66.2		ケイ笛をならす	19.7	15.0	17.2
	ムネを張って歩く	51.4	78.5	65.6		ケイ備員	55.6	56.3	55.9
	ムナさわぎがする	37.5	65.0	52.0		ケイ報機	34.7	43.2	39.2
22 郷キョウ・ゴウ	キョウ関を出づ	1.4	0	0.7		自ケイ団	31.4	33.8	32.7
	キョウ愁をそそる	20.5	28.8	24.8	26 劇ゲキ	ゲキ団	48.6	59.5	54.3
	キョウ里へ帰る	43.1	60.0	52.0		ゲキ的な再会	37.5	45.0	41.4
	故キョウの山	40.8	46.3	43.7		ゲキ務にたえる	5.7	6.3	6.9
	望キョウの念	31.9	44.3	38.4		ゲキ薬	24.3	17.5	20.7
	近ゴウ近在	17.8	15.0	16.3		喜ゲキ	41.1	52.5	47.1
	水ゴウ～地帯	41.1	43.8	42.5		悲ゲキ	37.0	50.0	43.8
						国立ゲキ場	44.4	53.8	49.3
23 筋キン・すじ	キン肉	58.3	75.0	67.1	27 穴ケツ・あな	ケツ居生活	18.3	1.3	9.3
	腕のキン力	79.5	81.3	80.4		墓ケツをほる	36.6	28.8	32.5
	鉄キン(コンクリート)	36.6	48.8	43.0		アナがあいた	84.7	82.5	83.6
	スジのとあった話	51.4	60.0	56.0		アナのあいたズボン	76.4	81.3	78.9
	信頼できるスジ	51.4	56.3	54.0		同じアナのむじな	82.9	82.5	82.7
	スジ金入り	23.9	31.3	27.8					
24 径ケイ	小ケイ(こみち)	11.0	7.5	9.2	28 源ゲン・みなもと	日本人の起ゲン	74.0	77.5	75.8
	直ケイ十センチ	74.6	75.0	74.8		財ゲンがとぼしい	35.2	18.8	26.5
25 警ケイ	ケイ戒する	28.2	33.8	31.1		豊かな水ゲン	81.9	73.4	77.5
	ケイ官隊	55.6	53.8	54.6		電ゲンを切る	80.6	71.3	75.7
	ケイ告する	50.0	50.0	50.0		公害発生のミナモト	80.0	71.3	75.3
	ケイ護する	45.2	38.8	41.8	29 呼コ・よぶ	はく息をコ気という	45.8	50.0	48.0
	ケイ察しよ	54.3	53.8	54.0		歓コの声	31.0	32.5	32.0
	世にケイ鐘を～	20.5	16.3	18.3		人員点コ	36.6	38.8	37.7

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
30 好 コウ・このむ・すく	ヨビ声	54.9	71.3	63.6	32 降 コウ・ふる・おりる・(おろす)	クレナイいろ	69.9	70.0	69.9
	ヨビ寄せる	64.3	78.8	72.0		コウ雨量	28.2	32.5	30.5
	ヨビ鈴	54.3	76.3	66.0		コウ下する	41.7	50.0	46.1
	コウ感を与える	54.2	66.7	60.8		敵はコウ参した	22.9	12.5	17.3
	コウ奇心	86.3	88.8	87.6		乗車口とコウ車口	26.8	33.8	30.5
	出足はコウ調	52.1	60.0	56.3		キリストのコウ誕祭	8.2	6.3	7.2
	コウ天にめぐまれる	48.6	51.3	50.0		無条件コウ伏	25.7	22.5	24.0
	状況がコウ転した	12.7	7.5	9.9		下コウ線をたどる	16.9	16.3	16.6
	彼はコウ人物	74.0	87.0	81.0		雨がふる	37.5	63.0	51.0
	愛コウ番組	66.7	83.8	75.7		電車からオリる	34.2	57.5	46.4
	絶コウの日より	38.0	46.3	42.4		乗客をオろす	35.6	41.3	38.6
	猫の大コウ物	83.3	92.5	88.2	33 鋼 コウ・(はがね)	水道のコウ管	22.2	7.5	14.5
	友コウ条約	52.1	56.3	54.3		コウ鉄	34.2	17.5	25.5
	スポーツをコノむ	79.2	93.8	86.8		製コウ所	28.2	10.0	18.5
	コノみが違う	76.4	89.9	83.4		ハガネ	15.5	2.5	8.6
	スキなたべもの	86.3	98.8	92.8	34 刻 コク・きざむ	お昼のコク限	49.3	50.0	49.7
31 紅 コウ・ク・べに・くれない	コウ顔の美少年	18.6	8.8	13.3		一コクをあらそう	37.5	58.8	48.7
	緑茶とコウ茶	72.2	80.0	76.3		発車の時コク	54.9	65.0	60.3
	白梅とコウ梅	76.7	80.0	78.4		深コクな表情	51.4	68.8	60.7
	コウ白二軍	69.0	71.3	70.2		遅コクするな	54.2	77.5	66.4
	コウ涙を流す	9.7	3.8	6.6		彫コク刀	47.1	67.5	58.0
	コウ一点の〇〇女史	45.8	40.0	42.8		時をキザむ	43.1	61.3	52.6
	真クの色	61.6	70.0	66.0		紙を切りキザむ	34.2	53.8	44.4
	ロベニ	81.9	86.4	84.3	35	人体のコッ格	80.6	88.8	84.9

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
骨 コツ・ ほね	スキーでコツ折した	71.8	82.5	77.5		ザ標を決める	88.6	93.8	91.3
	遺コツ	76.4	89.9	83.4		ザ右の書	61.6	62.5	62.1
	気コツがある	54.3	62.5	58.7		〇〇入門講ザ	86.1	91.4	88.9
	白コツ死体	76.1	80.0	78.1		振替口ザ	84.5	80.0	82.1
	反コツ精神	58.6	66.3	62.7		オリオン星ザ	94.2	93.8	94.0
	ホネと皮	80.8	93.8	87.6		当ザ預金	87.5	85.0	86.2
36 国 コン・こまる	コン難	29.6	37.5	33.8		いすにスワる	35.6	50.0	43.1
	コン惑した顔	26.0	31.3	28.8		紙をサイ断する	12.5	45.0	29.6
	たりなくてコマる	45.8	60.0	53.3		サイ縫	21.1	50.0	36.4
37 秒 サ・ シャ・ すな	鳥取県のサ丘	83.1	82.5	82.8	39 裁 サイ・ たつ・ (さばく)	決サイをうける	12.7	12.5	12.6
	サ塵が舞いあがる	59.7	50.0	54.6		制サイを加える	33.3	30.0	31.6
	サとうを入れる	79.2	81.5	80.4		布地をタつ	22.8	33.3	19.0
	サ防林	83.6	60.0	71.2		けんかをサバく	23.3	25.0	24.2
	土シャが流出した	64.3	70.0	67.3	40 冊 サツ・ (サク)	本のサツ数	55.6	71.3	63.8
	ジャ利トラック	45.1	26.3	35.1		一サツの本	64.8	81.3	73.5
	スナの中に～	91.5	88.8	90.1		別サツ付録	57.5	80.0	69.8
	スナ時計	85.9	86.3	86.1		短ザクに切る	5.6	4.9	5.2
	スナ場	89.0	95.0	92.2	41 姿 シ・ すがた	短ザクに歌をよむ	8.3	7.5	7.9
	スナ浜	95.7	95.0	95.3		よいシ勢	50.7	66.3	58.9
	スナ山	91.7	93.8	92.8		鷹の雄シ	19.4	11.3	15.1
38 座 ザ・ (すわる)	ほんのザ興ですが～	63.9	68.8	66.4		容シ端麗	16.9	23.8	20.5
	ザ高をはかる	90.1	91.3	90.7	42	スガタ見(鏡)	60.6	81.3	71.5
	船がザ礁した	68.5	65.0	66.7		花嫁スガタ	62.5	87.5	75.7
	ザ席にすわる	85.9	90.0	88.1		月刊雑シ	46.5	57.5	52.3

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
誌シ	宿直日シ	54.9	66.3	60.9	尺シヤク	シヤク度	49.3	31.3	39.7
43磁ジ	陶器とシ器	9.9	11.3	10.6		シヤク八	70.8	69.6	70.2
	ジ気嵐	41.7	10.0	25.0	47若ジャク(ニヤク)わかい・もしくは	ジャックんたりない	20.5	15.0	17.6
	ジ極	50.7	12.5	30.7		ジャク年者	14.1	22.5	18.5
	ジ鉄鉦	41.4	10.0	24.7		泰然自ジャク	6.8	1.3	3.9
	ジ石	45.8	9.9	26.8		老ニヤク男女	26.4	25.0	25.7
	ジ力線	44.3	8.8	25.3		ワカイ女性	91.8	100	96.1
	電ジ説	45.8	13.9	29.1		かえでのワカ葉	92.9	96.3	94.7
	陶ジ器	36.1	12.5	23.7		ワカ者たち	94.4	98.8	96.7
44射シャ・いる	シャ撃の名人	51.4	55.0	53.3	48樹ジュ	AもしくはB	5.7	5.0	5.3
	シャ殺する	66.7	73.4	70.2		シベリアのジュ海	23.9	15.0	19.2
	シャ程距離	58.6	46.3	52.0		ジュ皮	40.0	43.8	42.0
	シャ的場	50.7	48.8	49.7		ジュ氷	34.7	35.0	34.9
	静脈注シャ	63.0	76.3	70.0		ジュ立する	34.2	25.0	29.3
	ロケット発シャ	50.7	40.0	45.0		ジュ齡〇〇年	25.4	28.8	27.2
	放シャ線	69.4	73.8	71.7		果ジュ園	47.2	53.2	50.3
	ゆみをイる	39.4	36.3	37.7		常緑ジュ	26.8	30.0	28.5
	光がサす	12.5	14.8	13.7		かい路ジュ	48.6	50.0	49.3
45捨シャ・すてる	四シャ五入	34.7	42.5	38.8	49縦ジュウ・たて	ジュウ横無尽	31.4	38.8	35.3
	取シャ選択	14.1	8.8	11.3		ジュウ貫鉄道	16.4	13.8	15.0
	ごみをスてる	31.9	48.1	40.4		日本アルプスジュウ走	9.9	12.5	11.3
	ステねで売る	22.5	27.5	25.2		ジュウ断する	12.3	17.5	15.0
	ステ身の技	31.4	38.8	35.3		一列ジュウ隊	1.4	10.9	6.0
46	シャツ貫法	35.6	23.8	29.4		横とタテ	20.8	25.9	23.5

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
50 縮 シュク・ちぢむ・ちぢまる・ちぢめる・ちぢれる・ちぢらす	新聞のシュク刷版	23.9	35.0	29.8		本ショへ連行された	40.3	46.8	43.7
	事業をシュク小する	64.8	67.5	66.2		けい察ショ	35.7	35.0	35.3
	1/20のシュク図	76.4	77.5	77.0		消防ショ	40.3	37.0	38.6
	空気を圧シュクする	68.6	75.0	72.0		税務ショ	34.2	32.5	33.3
	恐シュク千万	58.9	65.0	62.1	53 将 ショウ	ショウ棋	57.5	45.0	51.0
	伸シュク自在	47.9	60.0	54.3		徳川三代ショウ軍	62.0	65.0	63.6
	時間を短シュクする	75.0	79.7	77.5		ショウ来を夢見る	55.6	59.5	57.6
	身のチヂむ思い	37.5	49.4	43.8		チームの主ショウ	56.3	60.0	58.3
	1/3にチヂまった	64.4	71.3	68.0	54 笑 ショウ・わらう・(えむ)	ショウ止千万	2.8	0	1.3
	身をチヂめる	44.3	58.8	52.0		苦ショウする	45.2	57.5	51.6
	毛がチヂれる	19.4	30.0	25.0		モナリザの微ショウ	46.5	62.5	55.0
	髪をチヂらす	37.5	55.0	46.7		冷ショウをあびせる	19.4	25.0	22.4
51 熟 ジュク・(うれる)	ジュクしたサクランボ	32.9	45.0	39.2		はらをかかえてワラう	54.3	78.8	67.3
	ジュク語	33.3	46.3	40.1		思わずほほエむ	41.7	66.3	54.6
	ジュク睡した	18.3	20.0	19.2		顔にエみを浮かべる	33.3	56.8	45.8
	ジュク成した酒	22.5	26.3	24.5	55 傷 ショウ・きず・(いたむ・いためる)	ショウ害致死	13.9	24.1	19.2
	仕事にジュク達する	26.4	34.6	30.7		ショウ心をいやす	13.9	8.6	11.1
	ジュク練した技術	31.4	41.3	36.7		ショウ病手当金	8.5	12.5	10.6
	ジュク慮のすえ〜	12.7	12.5	12.6		感ショウ的になる	12.7	13.8	13.2
	円ジュクした演技	31.5	50.0	41.2		けがは軽ショウ	15.7	30.0	23.3
	運転が未ジュクだ	32.9	46.3	40.4		死ショウ者	20.5	38.8	30.1
	よくウれたすいか	9.7	11.3	10.5		ご愁ショウさま	0	0	0
52 署 ショ	ショ名する	23.9	26.3	25.2		重ショウを負う	18.6	31.3	25.3
	部ショにつく	15.1	25.0	20.3		古キズがいたむ	19.1	35.0	27.5

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
	イタんだ果物	1.4	2.5	2.0	る・たらず	懸スイ運動	45.8	49.4	47.7
	心をイタめる	6.9	1.3	3.9		胃下スイ	28.6	32.5	30.7
56 障 シヨウ・ウ・	シヨウじをはる	26.4	32.9	29.8		卒先スイ範	4.2	0	2.0
	車が故シヨウした	35.2	55.0	45.7		しずくがタれる	11.0	3.8	7.2
	からだにサワる	1.4	0	0.7		すだれをタらす	4.3	2.8	3.9
57 城 ジョウ・ウ・しろ	ジョウ壁	66.2	60.0	62.9	61 寸 スン	スン暇をおしむ	38.9	38.0	38.4
	ジョウ下町	88.7	88.8	88.7		発車スン前	74.0	75.0	74.5
	大阪方落ジョウウ	61.6	42.5	51.6		道路がスン断された	30.6	28.8	29.6
	シロを築く	88.9	90.0	89.5		スン鉄, 人を殺す	28.2	26.3	27.2
58 蒸 シヨウウむす(むれるむらす)	ジョウ気機関車	39.7	45.0	42.5	62 染 セン・そめる(そまるしみるしみ)	スン分のちがい	65.3	61.3	63.2
	ジョウ発皿	26.8	25.5	24.5		洋服のスン法	80.6	79.0	79.7
	ひどくムす	25.0	25.0	25.0		セン色体	31.9	70.0	52.0
	足ガムれる	13.9	14.8	14.4		～に汚センされた	33.3	45.6	39.7
59 針 シン・はり	ごはんをムらす	18.1	12.5	15.1	63 染 セン・いすみ	結核に感センした	36.6	55.0	46.4
	船はシン路を～	4.2	1.3	2.6		赤くソめる	25.4	63.8	45.7
	時計の短シン	81.4	91.3	86.7	64 洗 セン・あらう	手が黒くソまった	38.9	70.9	55.6
	時計の長シン	70.4	77.5	74.2		インクがシミた	2.8	5.0	4.0
	時計の秒シン	72.2	90.0	81.6		インクのシミ	6.9	6.2	6.5
	方シンをきめる	69.0	76.3	72.8		温セン	50.7	56.3	53.6
60 垂 スイ・(たれ)	時計のハリ	84.7	90.1	87.6		イズミのほとり	88.7	83.3	86.1
	スイ線をおろす	46.5	56.3	51.7	64 洗 セン・あらう	セン眼する	77.8	92.5	85.5
	スイ直線	52.9	61.3	57.3		セン面器	68.6	81.3	75.3
	円スイ	28.2	28.8	28.5		セン練された～	42.3	57.5	50.4
	角スイ	25.4	27.5	26.5		水セン(トイレ)	76.7	85.0	81.0

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
	筆をアラう	84.3	93.8	89.3	や つ る	体ソウの選手	68.5	73.8	71.2
65 奏 ソ ウ ・ (かなでる)	演ソウ旅行	34.7	50.0	42.8		ミサオを守る	22.9	40.0	32.0
	弦楽器の合ソウ	27.1	37.5	32.7		小舟をアヤツる	8.3	2.5	5.3
	～を上ソウする	0	0	0					
	ピアノの独ソウ	36.1	42.5	39.5		ゾウ器移植	49.3	52.5	51.0
	吹ソウ楽	28.6	41.3	35.3		豚のゾウ物	22.5	28.8	25.8
	～が効をソウした	8.5	3.8	6.0	69 蔵 ゾ ウ	心ぞうと肝ゾウ	50.0	66.3	58.6
	琴をカナでる	16.4	8.8	12.4		心ゾウ	44.3	63.8	54.7
						牛の内ゾウ	55.6	60.8	58.3
66 窓 ソ ウ ・ ま ど	学ソウを巢立つ	29.2	39.2	34.4	70 宅 タ ク	往診とタク診	43.7	48.8	46.4
	車ソウにうつる景色	34.2	51.3	43.1		農地とタク地	38.9	38.3	38.6
	船ソウからの景色	8.5	12.5	10.6		家タク搜索	39.4	45.0	42.4
	同ソウ会	47.2	52.5	50.0		自タク	68.6	78.8	74.0
	電車のマド	45.8	63.0	54.9		社タク	72.2	73.4	72.8
	きれいなマド掛け	52.8	67.5	60.5		住タク	75.3	77.5	76.5
67 層 ソ ウ	上そうと下ソウ	45.2	43.8	44.4	71 担 タ ン ・ (かつぐ・になう)	拙タク	56.9	72.5	65.1
	上ソウと下そう	43.8	34.2	43.8		豪華な邸タク	70.0	78.8	74.7
	社会の階ソウ	30.6	30.0	30.3		タン架で運ぶ	21.1	6.3	13.2
	だんソウが生じた	52.8	59.5	56.3		仕事をタン当する	52.9	67.5	60.7
	古生代の地ソウ	41.7	65.4	54.2		タン任の先生	57.5	77.5	68.0
68 操 ソ ウ ・ み さ お ・ (あ)	ソウ業短しゆく	11.4	1.3	6.0		土地をタン保に～	16.9	7.5	11.9
	機械をソウ作する	34.7	41.3	38.3		弱い者に加タンする	30.6	26.3	28.3
	電車のソウ車場	19.7	11.3	15.2		負タン金	50.0	58.2	54.3
	ソウじゅうする	31.0	32.5	31.8		仕事の分タン	41.4	55.0	48.7
	節ソウを重んじる	8.3	7.6	7.9		荷物をカツぐ	1.4	0	0.7



字	提出語形	平均正答率(%)			字	提出語形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
	大役をニナう	11.0	2.5	6.5	たためる	たき火でアタタまる	40.3	63.8	52.6
72 探タン・さぐる・(さがす)	真理をタン求する	43.1	52.5	48.0		へやをアタタめる	40.0	62.5	52.0
	タン検小説	48.6	42.5	45.3	75 値チ・ね・あた	数チ計算	54.9	65.0	60.3
	南極タン検	52.9	46.3	49.3		ー5の絶対チ	66.2	73.8	70.2
	付近をタン索する	33.3	36.7	35.1		運賃のネ上げ	65.3	79.0	72.5
	魚群をタン知する	50.7	48.8	49.7		ネうちのあるなし	70.0	80.0	75.3
	社会タンぼう	19.7	13.8	16.6		商品をネ切る	46.5	62.5	55.0
	内情をサグる	41.1	43.6	42.5		やすいネだんで売る	68.1	82.5	75.7
73 段タン	剣道のダン位	68.1	77.8	73.2	76 仲チュウ・なか	すてネで売る	49.3	57.5	53.6
	一ダン階上にのぼる	71.4	77.5	74.7		りんご一個のアタイ	80.8	88.8	85.0
	河岸ダン丘	49.3	56.3	52.9		けんかのチュウさい	41.1	37.5	39.2
	文章のダン落	68.5	75.0	71.9		チュウ秋の名月	8.5	5.0	6.6
	階タンをのぼる	74.0	77.5	75.8		実力伯チュウ	2.8	1.3	2.0
	目的と手タン	56.3	76.3	65.9		ナカ買い人	88.9	91.3	90.1
	柔道初タン	70.0	76.3	73.3		仕事のナカ間	92.9	96.3	94.7
	やすいねタンで売る	61.1	76.3	69.1		大のナカよし	91.4	98.8	95.3
74 暖タン・あたたかい・(あたたか・あたたまる・あ	寒帯とダン帯	50.7	63.8	57.5	77 宙チュウ	ナコウ人	41.1	53.8	47.7
	ダン冬異変	49.3	63.8	56.9		うチュウ旅行	60.3	76.3	68.6
	ダン房器具	35.2	56.3	46.4	78 庁チヨウ	つばめのチュウ返り	45.1	52.5	49.0
	ダン流	47.2	71.3	59.9		新チヨウ舎	20.8	12.3	16.3
	ダン炉	46.6	58.8	53.0		都チヨウのたてもの	57.5	53.8	55.6
	温タンな地方	37.5	61.7	50.3		けい視チヨウ	38.9	46.3	42.8
	寒タン計	29.6	55.0	43.0		中央の諸官チヨウ	22.2	18.8	20.4
	アタタかい春の日	48.6	71.3	60.5	79	死のチヨウ候	12.3	6.3	9.2

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
兆 チヨウ・きざす・きざし	三チヨウ五千億円	71.8	76.3	74.2	83 糖 トウ	はらをイタめる	69.4	81.3	75.4
	噴火の前チヨウ	14.1	12.5	13.2		トウ衣錠(くすり)	25.0	30.4	27.8
	悪心がキザす	2.7	3.8	3.3		トウ尿病	37.0	60.0	49.1
	春のキザシ	2.8	2.5	2.6		塩分とトウ分	36.6	42.5	39.7
80 頂 チヨウ・いただき・いただく	三角形のチヨウ角	78.1	80.0	79.1	84 乳 ニユウ・ち・ちち	きトウを入れる	38.9	50.6	45.1
	富士山のチヨウ上	76.1	77.5	76.8		化粧用のニユウ液	80.0	85.0	82.7
	三角形のチヨウ点	80.3	82.5	81.5		ニユウ化剤	70.4	58.8	64.4
	山チヨウ	80.6	91.3	86.2		ニユウ牛	86.1	96.3	91.4
	人気絶チヨウ	56.3	66.3	61.6		粉剤とニユウ剤	71.4	71.3	71.3
	山のイタダキ	69.4	76.5	73.2		ニユウ酸菌	83.3	83.5	83.4
	イタダきます	50.7	75.0	63.4		ニユウ歯と永久歯	76.4	81.3	78.9
81 潮 チヨウ・しお	太平洋のチヨウ流	42.3	30.0	35.8		ニユウ白色	78.1	80.0	79.1
	文芸思チヨウ	31.9	27.8	29.8		牛ニユウ	76.1	85.0	80.8
	世論の風チヨウ	33.8	30.0	31.8		離ニユウ食	69.0	78.8	74.2
	いまがシオ時だ	39.4	37.5	38.4		ほにゅうびんのチ首	67.1	81.3	74.5
82 痛 ツウ・いたむ・いたいたい・いためる	ツウ覚がマヒする	52.8	63.0	58.2	85 脳 ノウ	牛のチチをしぼる	69.4	80.2	75.2
	～をツウ感した	68.6	75.0	72.0		ウ母車	44.4	61.3	53.3
	苦ツウを感じる	62.9	86.3	75.3		ノウ出血	50.0	77.5	64.5
	心ツウの色がみえる	64.4	72.5	68.6		ノウ貧血	41.7	65.0	53.9
	頭ツウがする	66.2	77.2	72.2		ノウ膜炎	59.7	74.7	67.5
	鎮ツウ剤	65.8	83.8	75.2		首ノウ会談	34.3	45.0	40.0
	ふくツウ	74.0	86.3	80.4		小ノウと大のう	38.0	60.0	49.7
	古きずがイタむ	78.1	90.0	84.3		小のうと大ノウ	38.0	58.8	49.0
	はらがイタイ	60.6	76.3	68.9		日本ノウ炎	63.0	71.3	67.3

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
86 肺ハイ	ハイ炎	44.4	60.8	53.0		バン年	50.0	70.0	60.5
	ハイ活量	45.1	61.3	53.6		今バン	52.1	70.0	61.6
	ハイ病になる	33.8	55.0	45.0		昨バン	42.3	60.0	51.7
	ハイ門リンパ腺	31.5	50.0	41.2		早バン解決する	30.6	53.1	42.5
87 背ハイ・せ(せい・そむく・そむける)	ハイ泳が得意	50.7	67.5	59.5	91 批ヒ	大器バン成	20.5	26.2	23.5
	ハイ景が美しい	41.4	47.5	44.7		現状をヒ判する	50.7	50.0	50.3
	事件のハイ後	43.7	37.5	40.4	92 秘ヒ(ひめる)	作文をヒ評しあう	34.7	41.3	38.2
	ハイ信行為	12.7	7.5	9.9		ヒ策を練る	35.2	40.0	37.7
	ハイ水の陣	25.0	11.3	17.8		社長ヒ書	50.0	53.8	52.0
	ハイ任罪	2.8	3.8	3.3		山川先生ヒ蔵の書物	56.9	59.5	58.3
	せにはらは～	62.5	76.3	69.7		ヒみつにしておく	50.7	58.8	55.0
	セイくらべ	58.6	68.8	64.0		神ヒ的なひとみ	52.8	58.8	55.9
	期待にソムく	1.4	0	0.7		心にヒめた願い	51.4	50.0	50.7
	顔をソムける	0	0	0	93 腹フク・はら	フク案を持って出る	2.8	1.3	2.0
88 俳ハイ	ハイ句を作る	63.4	71.3	67.5		フクつう	63.0	82.5	73.2
	「芭蕉」はハイ号	52.8	55.0	53.9		フク膜炎	48.6	65.8	57.6
	一茶はハイ人	52.4	62.5	58.2		フク話術	15.7	17.5	16.7
	えい画のハイゆう	47.9	60.0	54.3		空フクをおぼえる	60.6	70.0	65.6
89 班ハン	三つのハンに分ける	93.1	91.4	92.2		ハラがいたい	63.9	82.7	73.9
	第五ハン	94.5	91.3	92.8		せにハラは～	58.3	85.0	72.4
	第五はんのハン長	94.5	90.0	92.2	94 閉ヘイ・としる	ヘイ会の辞	87.5	90.0	88.8
90 晩バン	彼はバン学だった	47.1	61.3	54.7		質問にヘイ口した	70.0	78.8	74.7
	バン秋の夕ぐれ	55.6	78.5	67.5		ヘイ鎖されている	79.2	91.1	85.4
	ミレーの「バン鐘」	51.4	71.3	61.8		ヘイ店する	84.5	86.3	85.4

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
(とぎす・しめる・しまる)	へい門する	87.3	86.3	86.8	98 亡ボウ(モウ・ない)	～をタズねる	47.1	62.5	55.3
	開へいする	90.1	88.8	89.4		ボウ父のゆい言	47.1	58.8	53.3
	みっペイする	52.1	67.5	60.1		ボウ霊	49.3	65.0	57.5
	口をトじる	86.1	90.1	88.2		ボウ命する	43.1	50.6	47.1
	門をトぎす	69.9	73.8	71.9		国の興ボウ	9.9	0	4.6
	店をシめる	81.4	83.8	82.7		死ボウ事故	64.8	75.0	70.2
	ドアガシまる	65.3	73.8	79.7		衰ボウの一途	25.0	21.3	23.0
						逃ボウをくわだてる	45.2	63.8	54.9
95 片ヘン・かた	メモ用の紙ヘン	58.9	53.8	56.2		未ボウ人	38.0	52.5	45.7
	ガラスの破ヘン	66.7	58.8	62.5		がりがりモウ者	23.3	8.9	15.7
	断ヘンの	31.5	28.8	30.1		ナき父をおもう	32.4	52.5	43.0
	カタ時もわすれない	72.9	72.5	72.7		兄をナくした	45.8	68.8	57.9
	一方にカタ寄る	76.1	57.5	66.2		父はナくなった	58.3	77.5	68.4
96 宝ボウ・たから	ホウ玉のような輝き	62.0	63.8	62.9	99 忘ボウ・わすれる	ボウ却とは～	16.9	11.3	13.9
	石炭のホウ庫	83.3	91.3	87.5		健ボウ症	11.0	15.0	13.1
	ホウ石	81.7	87.5	84.8		備ボウ録	4.2	2.5	3.3
	伝家のホウ刀	63.9	53.8	58.6		ワスれ物	74.0	86.3	80.4
	人間国ホウ	87.1	76.3	81.3		物ワスれ	71.4	86.3	79.3
	タカラ物	95.1	98.8	97.3					
	子ダカラをさずかる	86.3	92.5	89.5					
97 訪ボウ・おとずれる(たずねる)	ホウ欧の旅	33.3	20.3	26.5	100 棒ボウ	ボウ暗記	25.0	38.0	31.8
	来月ホウ日の予定	47.9	56.3	52.3		ボウグラウ	53.4	55.0	54.2
	ホウ問する	49.3	68.8	59.6		鉄ボウにぶらさがる	25.4	40.0	33.1
	諸国を歴ホウする	43.7	43.8	43.7	101 枚マイ	マイ拳にいとまなし	11.0	7.5	9.2
	春がオトズれる	40.0	56.3	48.7		用紙のマイ数	67.6	87.5	78.1
					102	暗マクを張る	25.4	32.5	29.1

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
幕 マク・ バク	煙マクをはる	24.3	43.8	34.7		ユウ便局	36.1	48.8	42.8
	開マクの時こく	31.9	51.3	42.1	107 優 ユウ・ やさしい・ (すぐれる)	ユウ越感	37.5	59.3	49.0
	字マクがでる	19.7	30.0	25.2		ユウ雅な生活	38.9	68.8	54.6
	除マク式	35.6	48.8	42.5		ユウ秀な成績	45.1	70.0	58.3
	鎌倉バク府	51.4	65.0	58.6		ユウ柔不断	37.0	46.3	41.8
103 密 ミツ	ミツ航をくわだてる	78.1	91.3	85.0		ユウ勝する	58.9	75.0	67.3
	ミツ室	71.4	86.3	79.3	108 幼 ヨウ・ おさない	ユウ美なすがた	47.2	72.2	60.3
	ミツ造	72.9	88.8	81.3		ユウ劣をきめる	52.8	73.8	63.8
	人口ミツ度	70.4	86.3	78.8		ヤサしい人	27.1	47.5	38.0
	ミツ約をかわす	73.6	92.5	83.6		スグれた才能	15.1	16.3	15.7
	ミツ漁を取りしめる	73.6	87.5	80.9		ヨウ魚を放流する	30.6	37.5	34.2
	内ミツにしておく	80.6	86.3	83.6		ヨウ時をなつかしむ	50.7	72.5	62.3
104 模 モ・ ボ	モ擬テスト	39.4	41.3	40.4	109 羊 ヨウ ひつじ	ヨウ稚園	49.3	78.8	64.9
	モ型飛行機	53.5	56.3	55.0		せみのヨウ虫	59.7	75.9	68.2
	絵をモ写する	51.4	51.3	51.3		オサナい子ども	55.6	84.0	70.6
	モ範を示す	61.6	64.6	62.9		オサナ心	50.7	81.3	66.9
	つばきの花のモ様	62.5	51.3	57.1	110 翌 ヨク	ヨウ毛	54.9	68.8	62.3
	暗中モ索	40.0	48.8	44.7		ヒツジを飼う	65.8	77.5	71.9
	大規模な工事	46.6	55.0	51.0		ヨク日	35.6	53.8	45.1
105 矢 (シ)・ や	相手に一シを報いる	4.1	0	2.0	111 乱 ラン・	ヨク朝	31.5	53.8	43.1
	ゆみにヤをつがえる	74.6	77.5	76.2		ヨク年	26.4	38.8	32.9
	ヤ車がまわる	64.8	65.0	64.9		ラン雲が広がる	70.0	78.8	74.7
106 郵 ユウ	ユウ政省	35.6	50.0	43.1		ラン掘する	28.2	17.5	22.5
	願書をユウ送する	31.5	27.5	29.4		ラン視	69.9	75.0	72.5

字	提 出 語 形	平均正答率(%)			字	提 出 語 形	平均正答率(%)		
		男	女	計			男	女	計
みだれる・みだす	ラン闘さわぎ	62.5	73.4	68.2	113 覧 ラン	一ラン表	13.9	23.8	19.1
	ラン筆	62.5	68.8	65.8		展ラン会	14.1	7.5	10.6
	ラン文	62.5	68.8	65.8		図書閲ラン室	11.1	16.3	13.8
	ラン暴なふるまい	71.2	78.8	75.2	114 裏 リ・う ら	表面とり面	28.2	36.3	32.5
	ラン脈な経理	60.0	71.3	66.0		物の表り	30.6	35.0	32.9
	職権ラン用	58.3	61.7	69.1		ウラ道	47.7	48.1	41.7
	混ランする	47.9	46.3	47.1	115 朗 ロウ・ ほか らか	漢詩をロウ吟する	17.1	25.0	21.3
	戦ランの世の中	74.0	83.6	79.1		詩をロウ読する	22.2	29.6	26.1
	髪がミダれる	59.7	61.3	60.5		合格のロウ報	19.4	20.0	19.7
	列をミダすな	58.3	66.3	62.5		天気は晴ロウ	24.7	37.5	31.4
						明ロウな性格	29.6	35.0	32.4
112 朗 ラン・たまご	ラン生と胎生	62.5	70.0	66.4		合計(115字)	46.2	51.6	49.3
	産ランする	56.3	76.3	66.9					
	にわたりのタマゴ	67.1	85.0	76.5					